

「津付ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」

開催結果について

- ① 参集者 住田町 多田欣一町長
陸前高田市 須賀建設部長（陸前高田市長代理）
岩手県 平井県土整備部長（岩手県知事代理）
- ② 開催日時 平成 22 年 12 月 24 日（金） 12：30～14：30
- ③ 開催場所 グリーンベル高勘会議室（住田町）
- ④ 会議結果 現行案である「ダム＋河川改修」が妥当とした県の案について、両市町から同意を頂きました。
- ⑤ 主な発言
 - ・いつ起きるかわからない災害に対し、実現性が高い**現行案を進めてほしい**。
 - ・遊水地案は、家屋の移転を伴うことや農地を潰してしまうことから、地域の経済活動に大きな影響を与えることになる。事業化は難しいのではないか。
 - ・ダムをやめて河川改修を行う場合、川底を掘るか、川を広げるか、堤防を高くするしかない。地形的に川を広げるのは無理。堤防を高くすることは、地域の宝である川と住民を寸断することになるので望ましくない。**川底を掘ることは広田湾を含めて生態系に大きな影響を与えることになる**。